

8月7日(水) 本年度第6回(通算2692回)

『新入会員卓話』

／担当/プログラム委員会

12時30分～釧路プリンスホテル

■お客様と来訪ロータリアン

- ・成田 育夫君 (釧路ベイ RC 会長)
- ・貝嶋 政治君 (釧路ベイ RC 地区大会実行委員長)
- ・高橋 与志一君 (釧路ベイ RC 地区副幹事)
- ・甲賀 伸彦君 (釧路 RC)

■出席報告【会員総数64名 免除7名 出席計算に用いた会員数64名】

出席者 38名 本日の出席率 58%

■ニコニコ献金

- ・新入会員卓話宜しくお願い致します ～小野寺 英夫君、佐渡 正幸君、坂入 信行君
- ・新入会員卓話楽しみにしています ～高橋 貢君、北山 幸徳君、森山 義文君
- ・入会記念と結婚記念です ～吉田 茂樹君
- ・本日四つのテスト唱和させていただきました。ありがとうございます ～松田 信明君
- ・誕生ケーキ楽しみにしています ～本間 弘人君
- ・誕生ケーキありがとうございました ～野澤 英明君、千田 清君
- ・2年目になりました ～東海林 均君
- ・入会記念日です ～村井 順一君、中島谷 友一朗君

☆会長挨拶☆ 《小野寺会長》



みなさんこんにちは。
先日天坂会員の歯科医院へ行ってまいりました。一ヶ月に一度定期的に見てもらっています。診察券と健康保険証を出したところ、間違えて運転免許証を出していました。何事につけてもよく確認しなければならないと思いました。本日は新入会員卓話であります。
日本ロータリークラブ創始者の米山梅吉さんが「ロータリーの例会は人生の道場である」と言われたそうであります。その事はロータリーの例会に於いて「自己研鑽」を積み「切磋琢磨」して、いろいろな情報を交換する事だと思えます。そのためには個々の会員の事が分らなければならないと思えます。今日の新入会員卓話で3人の事がすこしでも知る事が出来れば有意義な事だと思えます。よろしく願い致します。

☆幹事報告☆ 《佐渡幹事》



- ・根室 RC、厚岸 RC から7月の例会報告が届いております。回覧いたします。
- ・次週8月14日は、定款第6条第1節により休会です。
- ・釧路 RAC から、北大通の清掃の案内が着ております。出席希望者名簿を回覧します。本年度の重点目標
- ・にも掲げております、RAC への活動支援事業の一環でもありますので、時間の都合のつく方は、ぜひご参加ください

新入会員卓話



坂入プログラム委員長

こんにちは今年度プログラム委員長をおおせつかりました、坂入で御座います。本日の例会は「新入会員卓話」であります。今回は3名の新しい仲間が加わって頂きました。

まずは、25年5月22日入会の妹背俊紀君。同じく5月22日入会の山本大介君。そして6月19日に入会の鈴木圭介君です！

釧路の有能な企業戦士がこの北クラブに、加わって頂き、またまた、新しいクラブの財産が誕生した訳です。新しく入会して頂いた、3名が1日でも早くクラブにまた、会員の皆様に溶け込み皆様に知って頂くための新入会員初めての卓話でありこれは新人会員の登竜門でも有ります。

今回は3名一緒に卓話でございまして大変申し訳ないのですがお一人の持ち時間は8分少々と物足りないとは思いますが、有意義に使って頂き、短時間にご自身をしっかりと皆様にアピールして頂ければと思います。

また、今年度の当委員会は転勤族の方々の出番を増やし、外から見た釧路、住んでみての釧路の好きな所、苦手な所などを多いに語って頂きたく、場面を増やしたいと思っておりますのでご協力宜しくお願いします。

それと共にクラブの重鎮の皆様にも久しぶりの卓話をお願いして、逆に新入会員より先輩を知るをテーマに考えておりますので諸先輩の皆様方も同じくご協力宜しくお願いします。

それでは、年功序列のクラブ鉄則に従い鈴木圭介君、山本大介君、妹背俊紀君の順で願います。

では、トップバッター鈴木圭介君、宜しくお願いします。



鈴木圭介君

初めての卓話ということで、自己紹介をさせていただきます。

1978年3月に釧路市中島町で、2人兄弟の次男として生まれました。鶴野小学校、大楽中学校、釧路西高等学校をでて、釧路全日空ホテルに就職しました。

就職してから3年が経過したときに、どうしても大学にいきたくなり、釧路公立大学に進学しました。片親だったものですから、学費を自分で捻出しなければならず、奨学金の返済があったため、なにか稼げる資格を取ろうと考え、税理士を目指すようになりました。

大学を卒業したのち、札幌の税理士法人加藤会計事務所に就職しました。札幌ですんでいたのは、平岸で、職場のあった大通東2条とは、ちょうどススキノを跨いでいました。帰ろうか、すすきのか。帰ろうか、すすきのか。毎日、誘惑との戦いでした。その誘惑に打ち勝ち、就職後3回目の試験で税理士試験の全科目を取得することができました。

その後、今日、メーカーとしてお越しの甲賀先生の事務所で4年程度お世話になり、平成22年1月に独立することとなりました。

ほぼ0件からのスタートでしたが、4年目である現在45件程の月次関与のお客様にお世話になっております。当会に導いてくださった森山様は、1番目のお客様であります。

私が得意とするのは、管理会計です、売上を数量・単価やアイテム別に細かく分析したり、店舗や一人当たりの採算を把握していく会計であります。税制は、毎年リニューアルが行われるため、トレンドに応じて、日々勉強しなければなりません。昨今は、相続税増税や消費税改革、企業再生税制といった部分が目白押しです。日々、精進していく所存であります。

趣味の話としては、マラソンがあります。先日行われた、釧路湿原マラソンは2時間58分で無事完走することが出来ました。今日出席されている小山さんとは、マラソンの話でいつも盛り上がっています。

最後に、なにぶん、若輩未熟者でございますので、皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。



山本大介君

皆さんこんにちは。損保ジャパンの山本大介と申します。

出身は東京で、御茶ノ水の順天堂大学病院というところで生まれました。ただ東京出身といっても親が銀行員だった関係で転勤が多く、小学校は3校通いました。その後、早稲田大学付属の高校に通うことになりましたが、埼玉県にある高校でしたので、通えず、寮で3年間暮らすことになりました。その後大学4年になり、どういう職業に就こうか悩んでおりましたが、就職活動の際に、帰り道にたまたま寄った安田火災でゼミの先輩に偶然出会い、それが縁で入社することになりました。入社時はさしたる目的もなかったのですが、当社の業務は、ロータリークラブの奉仕の精神と似ておりますので、今は良かったなと思っています。

損害保険会社に入り、さまざまなことを学ばせてもらいました。たとえばゴルフでホールインワンをするためには、どうしたらよいか分かります。

< 5条件 >

1. 4月もしくは10月に
2. 年齢は58歳で
3. 156ヤードのショートホールで
4. 天候は穏やかな風で
5. スコアは80台後半

これを満たせば、ホールインワンができます。

あっ、その前に、当社のゴルファー保険に忘れずにご加入を！

それから、もし自分の家から火を出して、隣の家燃えうつってしまった場合、どうしますか？お隣さんへ賠償しなければと思いますよね？

でも日本の法律では失火責任法という明治時代にできた法律がまだ続いており、賠償義務は免除されています。したがってこのようなケースで、お客様の家が火災となり、隣も燃えてしまった場合、自分の家は火災保険でもういちど建て直しできますが、隣の家が火災保険に入っていない場合は、銀行からお金を借りて、建て直すしかありません。

そうすると、その後、お客様がいずらくなって引越してしまうという話がよくあります。

それを防ぐためには火災保険に入っていない人を見かけましたら、ぜひ私にご紹介ください。またいまは賠償責任が無い場合でも、保険金を1億円までお支払いできる商品もありますので。

ご清聴ありがとうございました。



妹背俊紀君

お疲れ様です。あらためまして私 妹背 俊紀と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

新入会員卓話ということでお時間をいただきましたので、これまでの経歴を自己紹介かねてお話させていただきたいと思います。

【出生、家族、小学校～高校生まで】

私は、サラリーマンの父と、専業主婦であった母との間に「妹背家」の長男として生を受けました。上には5つ離れた姉がお二人姉弟です。

誕生日は昭和40年2月11日、今や釧路北側のアトル、佐渡幹事のご息女様の誕生日と同じでございます。誠に光栄でございます。

昭和53年NHK大河ドラマで放映された「黄金の日々」の舞台になった場所で、いわゆる堺の商人と呼ばれるほど商いの盛んな「商売の都」大阪府堺市というところで生まれました。

小学校では野球、サッカー、中学校では将来の事を考えて基礎体力をつけたほうが良いと思い、陸上部に入部。3年間過ごしました。専門は短距離と中距離、たいした活躍はみせませんでしたが、3年生の最後の試合で100m11秒8で3位になったのが、唯一の表彰台です。高校では、またサッカーをやりたいかったのですが、たまたま進学した高校にサッカークラブがなく、同じ球技だろうということで、仲間とともにハンドボール部に入りました。私は地肩も強く、陸上部出身で足も早かったので1年後半からレギュラーになりましたが、サッカーと違い狭いコートでセコセコと走り回るスポーツが自分には合わないような感じがしていました。

また、部の規律が厳しく、色々拘束されることも多かったのも嫌になり、とうとう2年生の夏合宿が終わったあと、退部届けをコーチに出し辞めました。

【親、家族、サラリーマンとして影響を受けた人】

ところで私の父方の家系も母方の家系も、自分でいうのもなんですが、そこそこスーパーサラリーマンの血筋です。父は大丸百貨店に勤務していましたが、私と違い、本社企画、経理畑で細かいことが得意な人でした。本店経理部長、監査室長で定年を迎えましたが、高校時代反抗期真っ最中のときには、そんな親父のことを「なんて堅物なんだ」と馬鹿にしたときもあったことを記憶しています。ただ、自身が会社勤めをはじめ、サラリーマンとして困難にあつた際に、親父の含蓄ある一言に姿勢を糾されたときが多々あり、3年前に肺がんで他界しましたが今となっては一番尊敬する人物です。

また私が生まれたときには既に他界していましたが、祖父は昭和初期から中期にかけて優良企業として有名だった「福助」の専務を務められていました。また、父は4人兄弟の末っ子でしたが、スーパーサラリーマンといえはすぐ上のお兄さん、私から見ると一番距離の近い叔父さんは、三和銀行入行後、同じ系列の東洋信託銀行に移り、その後、丁度、昭和62年～平成4年くらいの間頭取を務めました。一方、母方の祖父は商社勤務であり海外で活躍されましたが、定年後、縁あって祈りの経営、「喜びのタネをまこう」を経営理念にかかげるダスキンの創業者、鈴木清一氏に請われて、ダスキンがはじめるミスタードーナツ事業への協力をする事になりました。昭和46年大阪の箕面店第一号店舗オーナーでもあった祖父は、結局初代ミスタードーナツ協同体理事長を亡くなるまで務め、その間、昭和60年には昭和57年からスタートさせた障害者リーダー育成事業「広げよう愛の輪運動」の一環となる障害者リーダー育成海外研修派遣事業の世界的評価により、当時東洋人初の「ヘレンケラーアンサリバンゴールドメダル」を受賞しています。これは我が一族の自慢です。祖父がアメリカでの授賞式に袴姿で臨むため家で袖を通して鏡の前でうれしそうに試着していたのを当時大学1年生であった私は今でも鮮明に覚えています。残念ながら祖父は受賞の日に永眠しました。

振り返りますと父方は事務系、母方の方は営業系です。私は保険会社に入社しましたが、自ら営業系入社希望であったことなど、冷静に考えると私に流れる血は母方の血のほうが強いような気がしています。

昭和58年、兵庫県にあり西の学習院と言われています「甲南大学」に入学。まあお坊ちゃん大学ですが、先ほどの祖父の家の下宿して2年間、祖父とともに生活しました。そのおかげで、祖父からサラリーマンとしての心得、考え方、身の処し方のようなものを普段の会話のなかで教えてもらった気がしていて、非常にありがたく、それらの教えが私の今のバックホーンになっていると思います。

【大学卒業から、社会人へ、そして会社生活の中での釧路】

まあ、そんなことで全く勉強せず単位もろくに取れておらず、1回で4単位、2回で8単位、3回で16単位と、3年間で累計わずか28単位という有様で卒業できるかも怪しい状況でしたが、周りにあわせて当たり前のように人並みに就職活動を開始しました。

どんな仕事をしたいかしっかりとしたものにはなかったのですが、ゼミの先輩に3回生の時に、「お前ゴルフ部やったら生保、損保系がいいぞ」と言われたのを記憶していて、自然といろいろ業種を調べるときに生保・損保系に目がいったと思います。そして縁ありまして、明治生命に8月15日内定をもらいました。さあそこからは卒業に向けて大変。皆が卒業旅行やらで華々しく過ごしているときに、怒涛の授業参加。あの手この手で単位をかせぎまくり、結局その年、96単位取得。累計124単位で無事卒業、明治生命に晴れて入社できたわけです。大阪勤務をかわぎりに、26歳の時に神奈川県相模原で初めての営業所長、以降、43歳まで3年間のスタッフ職以外は営業所長を4箇所務めました。35歳の時に、熊谷市近くの行田市というところの営業所長として着任した際には、行田の地で地域に根付いた仕事をしたい、地元の人とのかかわりを多く持ちたいと思い、行田青年会議所に電話して会員となり、4年間J Cの経験を積みました。

そして43歳の時の時に、いわゆる支社長職で大阪に女性新卒営業部隊をとりしきる部長につきましたが、その年の10月、直部下の自宅パソコンがファイル交換ソフトのウィニーに感染していたことから就職学生のリクルート情報が大量にインターネット上に流出するという不祥事が発生し・その事態収拾とともに責任を取る形で、1年で職をおろされたわけです。余談ですが、インターネット上の情報漏えいは生保業界初であって、その後の情報管理態勢、セキュリティ体制の抜本的な改革の端緒となる出来事となりました。余談ですが、その後、同様の事象が発生した際に、報告に行ったら、金融庁の担当者から、「対策は明治安田生命さんに聞いたらいよいよ」と言われたこともあったようです。さて、左遷されての異動先は東京本社の保険金部、営業で生きてきた男が、今度は支払い部門に回されたのです。1日中パソコンと約款、診断書とにらめっこでデスクワークは本当に疲れました。陸の生き物がいきなり海に入れといわれたようなものです。

ただ、そこでも粛々と頑張っ、半年後、チームリーダーを任され2年間頑張りました。そして営業部門の本社組織である営業教育部への配属となり、直前まで若手営業所長の育成を担当していたのです。

【釧路に来て、今の思い】

今回青天の霹靂ともいえる人事発令により釧路支社長の職を任されることになりましたが、先ほどの大きな不祥事以タトにも上司に盾突ついで、怒りを買って、2ヶ月間口をきかず、やりとりは筆談のみ、干されたりしたこともありました。そんな私でも再度現場の長をやれということで、非常に感謝しながら赴任してまいりました。今は、いつ下ろされても平気なように、自分の思うような仕事がしたいと考えて日々過ごしております。

今回、お仲間に加えていただくことになり、3ヵ月。まだ、駆け出しではありますが、釧路の地で地域に根付いた仕事と、たくさんの思い出を作りたいと思います。諸先輩の皆さん、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本日はご静聴ありがとうございました。